

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 9 月 20 日 (2007.9.20)

【公表番号】特表 2003-512412(P2003-512412A)

【公表日】平成 15 年 4 月 2 日 (2003.4.2)

【出願番号】特願 2001-532734(P2001-532734)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/30 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 7/48

A 6 1 K 7/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 27 日 (2007.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】化粧品スキンケア組成物であって、

(i) 0 . 0 0 0 0 1 ~ 1 0 重量 % の量のレスベラトロール、

(i i) レチノイン酸、レチノール、酢酸レチニル及びリノール酸レチニルから選択されたレチノイドを 0 . 0 0 1 ~ 1 0 重量 %、および

(i i i) 化粧品的に許容されるビヒクル

を含む、前記組成物。

【請求項 2】レスベラトロールが、組成物の 0 . 0 0 0 1 ~ 5 重量 % の量で存在する、請求項 1 記載の化粧品スキンケア組成物。

【請求項 3】しわが寄った、乾燥した、はげた、老化した又は光損傷した皮膚の外観を改善し、皮膚厚さ、弾性、柔軟性及びふくよかさを改善する化粧方法であって、皮膚に請求項 1 ~ 2 の何れか 1 項記載の組成物を適用することを含む方法。

【請求項 4】皮膚内の細胞レチノイン酸結合タンパク質のレベルを増加させる化粧方法であって、皮膚に請求項 1 ~ 2 の何れか 1 項記載の組成物を適用することを含む方法。